令和５年度＜校長室だより＞NO.７

新中だより

令和６年　１月１７日
新庄市立新庄中学校
TEL　２２－１５５５
文責　永井　康博

2024年、令和6年の幕開け、龍の如く

２０２４年、令和６年が幕開けしました。今年は、元旦に能登半島地震があり、石川県を中心に北陸地方では、建物や道路の損壊、津波の被害などがあり、２００人以上が亡くなられました。また、現在も悪天候の中、安否不明者の懸命な捜索活動が続いておりますし、２万人以上の人が悪環境の中での避難生活を余儀なくされています。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、多大な被害を受けた方に対しお見舞いを申し上げ、一日も早く以前の生活に戻ることができるよう祈念いたします。続けて２日には、羽田空港において、日航機と海上保安庁の航空機が衝突・炎上する事故が起きました。海上保安庁の航空機は今回の地震の支援に向かおうとしていたそうで、５名の方がなくなる痛ましく、とても悲しい事故でした。

年明け早々にこのように暗く辛いニュースが飛び込んできたわけですが、私たちは一人一人が強い意志を持って、目標に向かって突き進んでいかなければなりません。今年は辰年、龍の如く、強くたくましく、天（目標）に舞い上がっていきましょう。

１月９日に３学期始業式が行われ、その中で各学年の代表生徒が新年の抱負を語ってくれました。１学年の星川奈々美さんは、今年頑張りたいこととして、「効率の良い勉強の進め方を身につけること」と「睡眠時間を十分に確保すること」を上げてくれました。年始の地震や事故から、自分や周りのいのちを大切にし、家族との時間を大切にする１年にしたいとも語ってくれました。２学年の今田樹希さんは、「愛修会会長として自ら手本となり、愛修会活動を盛り上げていきたい」と「終わりも見えてきたサッカー部の活動を頑張っていきたい」「３年生に向けて、受験に向けて勉強を頑張っていきたい」と３つについて意気込みを語ってくれました。３学年の安喰青空さんは、「自分の将来への夢の第一歩となる高校受験に向けて、３年生全員で支え合いながら逃げずに立ち向かっていく。今まで一緒に過ごした仲間ともあと２ヶ月、残された中学校生活を大切にし、楽しみたい。」と語ってくれました。４月から始まる次のステージへの期待とともに、仲間との生活を大切にし、いい思い出を胸に中学校を巣立っていきたいという気持ちがすごく伝わってくる新年の抱負でした。各学級で、全員が新年の抱負を語りました。自分が立てた目標をしっかり意識して、根気よく頑張っていきましょう。

「成人の年齢」2022 年4月より18歳に

令和６年の成人の日は、第２月曜日の８日でした。1999 年までは、成人の日は１月１５日と定められていましたが、2000 年からハッピーマンデー制により１月第２月曜日と定められたのです。そして、成人の定義が見直され 2022 年４月から１８歳で成人となりました。成人年齢が２年引き下げられましたが、あわてることなく、社会や人の役に立つ、中身のある人間として成長していきましょう。本校の校訓「品位のある人」「積極的でねばり強い人」「働きのある人」は、成人として大切な素養です。この校訓を意識し、目指していくことが人間としての成長につながります。